

「発掘！図書館エピソード大賞」最終審査候補 内容概略

No.	タイトル	内容紹介	備考
1	扉を開けてくれる場所	図書館での資料相談のおかげで、10年間取り組んできた「鳥取の民芸と陶芸家河井寛次郎」についての論文を冊子にすることことができたという内容。	
2	旅と図書館	旅行で訪れた「秦野市立図書館」への思い出を綴り、図書館とゆかりのある歌人前田夕暮へと思いをはせ、郷土の文化人を大切にする地域の図書館の意義を紹介する内容。	
3	子供とともに	図書館職員の声かけをきっかけとした移動図書館の利用から、子供の成長を実感し、子育ての悩みや孤独を解消できしたことへの感謝を述べた内容。	
4	親子で楽しむ場所	健診でのブックスタートをきっかけに、乳幼児向けの絵本やおはなし会と出会う中で、本を通して子供の成長を実感し、親子の触れ合いを楽しんだという内容。	
5	図書館での学び	手話検定試験の勉強のため図書館を利用し、3級合格につながったという内容。	
6	(無題)	図書館の職員との触れ合いを通して、これまでよりも「ウキウキ」した「楽しい」気分で図書館に通えるようになったという内容。	
7	爬虫類と図書館の巡りあわせ	「爬虫類のいる空間で読書」をコンセプトに企画した図書館での展示を通して、図書館の新たな魅力の発見につながったという内容。	
8	分岐点	学校司書に勧められた本に登場する主人公に勇気をもらい、引き込み思案で友人を作ることができなかつた自分を変えることができたという内容。	
9	新たな居場所	図書館で感じる居心地の良さと、一人で自分自身と向き合うことができる自由な時間の貴重さを実感したという内容。	
10	理解	高齢と難聴のために理解が難しいテレビドラマも、移動図書館で借りる原作本をもとに楽しむことができているという内容。	